

ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けする「ナー」です。
皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：
市内永田町一―〇〇 市広報広聴課
☎ 五―〇二三 内線三八三
締め切りは毎月十五日です。



公共機関などのわかる 地図をつくって

このコーナーは、「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、江尾の吉川百合子さんからいただいた「シティーマップの発行を」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります）

〈市長への手紙〉

私は主人の転勤で、昨年九月、富士へ越して来ました。今でこそ市の様子が少しはわかるようになりましたが、最初は右も左もわからない新しい土地で、おろおろする毎日でした。
子供たちの学校・幼稚園、また病院など、どこに何があるかわかりません。特に病院は市



吉川百合子さん

大変よい企画です

〈市長の答え〉

市長への手紙ありがとうございます。ありがとうございました。

市は現在、転入されてきた人のために、市の概要・各種屈出・病院・学校等の一覧などを載せた「ガイドブックふじ」を発行しています。この冊子の巻末に公共施設の略図はありますが、医療機関はありません。

御提言の「シティーマップ」は、大変よい企画だと思いますので、転入者の皆さんでもわかりやすい地図を検討してまいります。

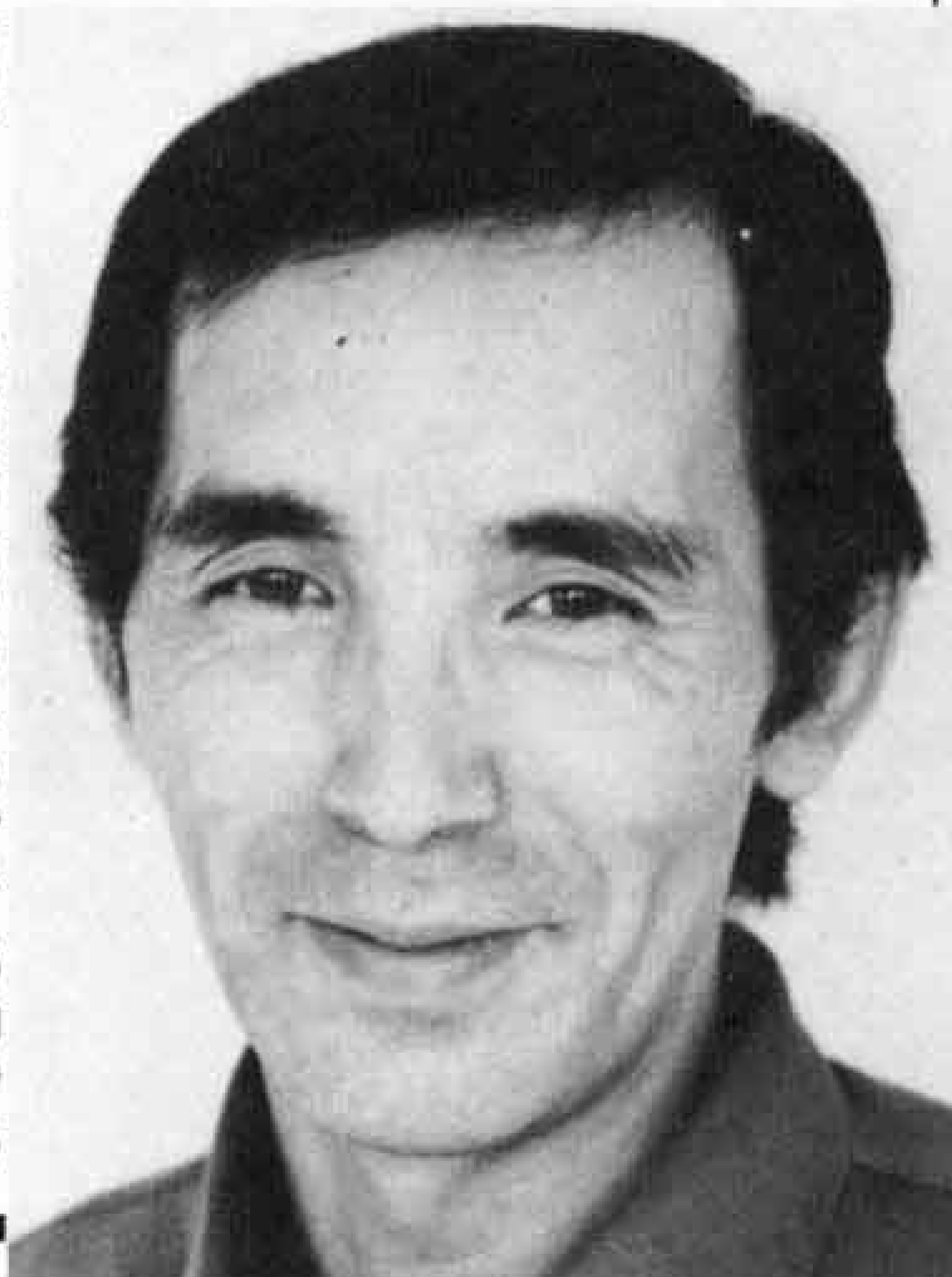


△ガイドブックふじ

第23回市展写真の部で 市長賞を受賞

ただ やす じゅ ろう
武田保寿郎さん

(新橋町10・43歳)



新聞で袋井市の可睡齋のユリが美しいと知り、朝一出かけカメラにおさめた作品が市長賞に。木々の間に咲く黄色のユリと、手前に配した赤紫のユリが幻想的で、審査員からも「画面の構成力が見事」と絶賛をうけました。

「シャッターチャンスに恵まれてね。一面にユリの花を見たとき

は極楽にいるようで、夢中でシャッターを切ったよ」と朴訥に語ります。

写真を作品として撮り出したのは十五年前。初めて出品した作品がコンテストの上位に入り、「それから病みつき」に。

ここ五年間は岩手県に家族を残し、半年は富士市を中心に県内で働く生活ですが、カメラは片時も離しません。「富士山を撮りたくて富士市に来たのに、富士山はまだ納得のいくものが撮れないよ」と残念そう。

これからは「特にアングルに気を配りたいね」と言う武田さん。目はいつもカメラのファインダーになっているようです。

